

令和4年度 上田市立豊殿小学校 自己評価 学校関係者評価 成果と課題・改善策と向上策

学校教育目標		めざす子どもの姿		総合評価									
実践心 力豊 のか あ る 向 上 子 ど も の 持 育 成	心豊かな子:感じたことや、思ったことを自分の言葉で語れる子 向上心を持つ子:よりよい自分になろうと努力する子 実践力のある子:思いや考えたことを行動にうつせる子		学校関係者評価				運営委員評価				改善策・向上策		
	今年度の具体目標		A	B	C	D	A	B	C	D			
	1	自分の言葉で語る力	・おおむね意識され、実践できている。	2	6	2	0	1	4	0	0	・引き続き「語る」機会を設定していく。「語る」ことを常としたい。 ・朝の会、帰りの会で自分のことを語る活動を継続していく。 ・自信をもって発言できるよう、グループで考えを出し合ったり、プリントに考えをまとめさせてから発表させる。	
	2	よりよくなるろうと努力する力	・おおむね意識され、実践できている。	3	6	1	0	1	4	0	0	・子どもたちを励まし、努力することの良さを実感できるようにする。ほめることを大切に。 ・目当てをもてるような働きかけをしていく。 ・友達とのつながりを意識できるようにしていく。	
3	行動にうつす力	・おおむね意識され、実践できている。	2	6	2	0	2	3	0	0	・子どもの願いから活動をつくりあげていこうとしたい。 ・頑張れたこと、よかったことをほめる。 ・出席表をつけ自身の取り組みの様子を振り返られるようにする。(児童会当番、合唱部)		

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	A	B	C	D	改善策・向上策	
学校教育	知	わかる・できる工夫	・マグネット、小黒板を使つての授業ができたか。 ・まとめの時間を確保したか。	・意識され、実践できている。	4	5	0	0	1	3	0	0	・子どものプリントと同じものを黒板に掲示したりテレビに映し、視覚的にわかりやすくする。 ・引き続き、まとめの時間を確保する。子どもの言葉でまとめるようにする。 ・授業の終わりに、その日取り組んだ学習の練習問題に取り組み「わかった!」「できた!」につなげていこうとする。	
		探究的な学び	・子どもが語るための場の設定と支援をしたか。 ・課題解決学習のスタイルで授業をしたか。	・おおむね意識され、実践できている。	2	5	1	0	2	2	0	0	・授業で対話の時間を増やすようにする。 ・調べ学習から生まれた課題をもとに授業を行う。 ・家での実践の様子を友達に発表する。工夫や進んでの取り組みの様子を共有していく。	
		主体的に学ぶ	・生活・総合を通し主体的に学ぶ力の育成に努めたか。 ・ポブラタイムを通し、自主的に学習に取り組むための力を育成したか。 ・ICTを取入れた授業を推進したか。	・ICTを取り入れることで、児童の意欲につながりやすくなった。 ・eライブラリーの活用が進んだ。	2	5	3	0	4	2	0	0	・グループで話し合い探求する時間を位置づける。・ICTの活用を継続して進めていく。 ・家庭科・・・裁縫の動画、実態アンケート調査、テキストマイニング、こんだて作り 音楽科・・・比較鑑賞、バーチャルピアノを使った旋律づくり ・ICTの授業では、子どもたちがタブレットを使うことに抵抗がなくなってきた。今後も積極的に取り組んでいく。	
	徳	気持ちの良い学校づくり	・気持ちよいあいさつや靴揃えを実践できるための取り組みをしたか。 ・進んでそうじに取り組めるよう、支援をしたか。	・意識され、実践できている。	3	8	0	0	3	4	0	0	・子どもたちのよい姿を認めていく。(くつそろえ、挨拶、掃除) ・掃除が自主的にできるよう、引き続き、取り組む仕事を選べるようにしたり、早く終わったときに取り組む仕事を選べるようにしたりしていく。 ・取り組めた活動にシールを張るようにし、成果を確認できるようにする。	
		宝の活用	・豊殿地域の宝である「ひと・もの・こと」の活用を進めたか。	・努力したい。 ・棚田(3年)、畑((5年)のモノの活用の取り組みができた。	2	3	3	1	3	2	0	0	・「稲倉の棚田」での地域探検・稲作など、保全委員会の方との連携を大切に、豊殿ならではの経験ができるように、今後も活動を継続していく。 ・棚田以外の宝の活用も積極的に進める。	
		異年齢交流	・キッズ活動、わくわくタイム、児童会等の異年齢集団の活動で、相手意識をもって、自ら進んで活動できるよう支援したか。	・コロナ禍の中、実施が難しい。 ・6年生が1年生の面倒を見る姿があった。	1	4	2	2	1	3	0	0	・異学年との活動が制限される中でも、関わり合えることを探していきたい。 ・児童数が少ないので、コロナの様子をみながら、異年齢の交流は大切にしたい。 ・「たなばた交流会」「なかよし月間」「キッズ遠足」などの行事を通して、来年度も異学年の交流を継続していく。	
		早期対応	・アンケート、個別懇談を通して、悩んでいる子への理解と支援ができたか。 ・自己肯定感・自己有用感を涵養するための取り組みができたか。	・おおむね意識され、実践できている。	4	4	2	0	0	3	1	0	・子どもの話を聴くとともに、本人にとって必要なことをアドバイスしていく。 ・「承認されていない」という気持ちになっている子への働きかけを行う。 ・児童の困り感に寄り添うとともに、保護者と連携をとりながら進めることを継続していく。	
	体	単発でない継続指導	・体みがき、食育、ネットモラル教育(メディアコントロール含)の指導を継続的に進めたか。	・さらに努力したい。	1	5	4	0	0	2	0	0	・必要だと思ったことは、単発でもよいので、活動として取り組むようにする。 ・ネットモラルについて折に触れ話していく。 ・1回の指導ではなく、継続して声をかけていく。	
		安全管理・危機管理	・多様な想定による訓練を通し、「自分の命は自分で守る」ため指導ができたか。	・おおむね意識され、実践できている。	5	5	1	0	2	1	0	0	・道路の横断の際、安全確認が不十分な児童が見られる。2学期、街頭指導、交通安全教室を行うが、日々の生活の中での安全な歩行についての確認を継続していく。 ・安全点検を引き続きしっかり取り組んでいく。・8月末、12月の避難訓練の機会を大切にとらえ、真剣に取り組めるようにする。	
		コロナ対策	・「てまきうし」が確実にできるように取り組んだか。 ・誹謗中傷など差別を防ぐために、正しい知識が身に付くよう取り組んだか。 ・換気、消毒等の感染予防を行うことができたか。	・子どもたちに気のゆるみが出てきている。(給食中の私語の様子、掃除後の手洗いの様子など)	6	3	2	0	3	3	0	0	・感染者が出た場合、どのように動いたらよいか想定しておく。 ・新型コロナの正しい理解と、感染予防策の大切さを繰り返し伝えていく。 ・友だちが罹患するという状況も多くなったが、その様な場合でも、友だちの体調を気遣う心を今後も育てていきたい。	
	学校運営	連携	保護者との連携	・学級、子どもの様子が家庭に伝わるよう取り組んだか。 ・アンケートや懇談会等を通し、子どもや家庭の様子をとらえとともに、誠意をもって丁寧に対応することができたか。	・実践できている。	6	5	0	0	2	3	0	0	・学級だより、合唱部だより、保健だより、図書館だよりで活動の様子を保護者に伝えていく。 ・学校だより「えぼし」の発行等により、学校の様子が保護者だけでなく、地域とも情報を共有できているので、今後も続けていく。
		幼保小中連携	・スムーズな受け入れ・進学のため、幼保小中連携事業を計画・実践できたか。	・おおむね実践できている。	0	5	1	0	1	1	1	0	・家庭や中学と連絡を取り、スムーズに進学できるようサポートしていく。 ・幼稚園、保育園への早めの相談を今後も大切にしていきたい。	
研修		綱紀粛正、セクハラ防止	・非違行為防止等の研修に自分事として参加できたか。 ・豊殿小から非違行為を出さないと、いつも意識して行動できたか。	・実践できている。	6	4	0	0	2	1	0	0	・他校での事例も自分事としてとらえ、引き続き日々の生活に生かすように心がける。 ・研修を通して学んだこと、感じたことを忘れることなく、心に留めて日々の生活を送るようにする。 ・自身が責任感をもつ。	
	自己研修	・自分自身の課題解決のため、日々の教材研究の実践、一人一公開に取り組めたか。 ・力量を高めるため、進んで研修へ参加ができたか。	・実践できている。	5	4	0	0	1	1	0	0	・どうすればわかりやすいか、児童に合わせて教材研究をし、学習の準備を進める。 ・ICTの活用ができるよう研修を進める。 ・引き続き進んで研修に参加し、学ぶ機会を大切にしていきたい。		

○ 評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった
 *学校運営委員の皆さんには、コロナ禍により授業参観が1回だったため、評価ができる範囲で評価をしていただいた。
 *黄色の網かけは「課題が達成できた項目」、青色の網かけは「来年度重点的に取り組みたい項目」を表しています。